

# 2016年4月のガス料金は

$$\text{基本料金} + \text{ガス使用量} \times \left( \text{従量料金単価} \pm \text{調整単価} \right)$$

標準料金

調整単価  
**-63 円/m<sup>3</sup>**  
原料費調整にかかわる料金

になります。

なお、今月の調整単価は前月に対して

$$\text{調整単価} = \text{前月の調整単価} + \text{変動額}$$

**+1 円/m<sup>3</sup>** となります。

規定値	①プロパンCP ドル/トン	②為替レート	③原料価格 (①×②) 円/トン	⑤環境税 円/トン
2016年4月	290	114.05	33,075	780

## 【4月分の調整額の出し方】

$$\left( \text{③原料価格 (円/トン)} - \text{④基準原料価格 (2009/10~2012/3の原料価格の平均値 (64,628円/トン))} + \text{⑤環境税 (780円/トン)} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \text{調整単価 (1m<sup>3</sup>あたりの調整額 (円/m<sup>3</sup> 税抜))}$$

トン/kgに直します。

Kgからm<sup>3</sup>に換算するための産気率 (愛知県用)

$$\left( \text{③原料価格 (33,075円/トン)} - \text{④基準原料価格 (64,628円/トン)} + \text{⑤環境税 (780円/トン)} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \text{調整単価 (-63 円/m<sup>3</sup>)}$$

(小数点以下切り捨て)

## 【ガス料金の計算式】

$$\text{ガス料金ご請求額} = \text{基本料金} + \text{ガス使用量} \times \left( \text{従量料金単価} \pm \text{調整単価} \right)$$

従来の標準料金

調整単価  
原料費調整にかかわる料金